

Thonburi 女子刑務所訪問 — 雑感

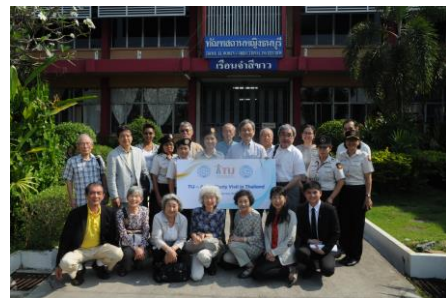
相澤裕子 識

トンプリ女子刑務所では収容者は10年以下の刑の者が対象で、主な罪状としては麻薬がらみが8割以上、次いで盗み、殺人、性に絡んだ人身売買など、ということでした。

背景には、家族や親族に起因する問題、貧困、無知などがあるそうです。収容者は大半が二十代から三十代と極めて若く、刑務所内で乳児を育てている者は9名、妊娠している者2名もおり、実際に育児室での子育てが見られました。

所内を案内されると、事前にビデオで紹介された取り組みを次々と目にすることになりました。

犯罪者の人権を尊重するバンコック・ルールズに基づき極めて配慮ある更生の取り組みが実践されていて、収容者へのフィジカル・メンタル両面へのケアや支援に創意工夫がなされ、それらが再発率の低さにつながっていると思われました。



印象深かった数例を、以下に示します。

- ① 教育のない者には教育を（最低限小学校卒業程度）、もっと高みを目指す者には大学まで門戸が開かれている。
 - 派遣される教師の学校名で卒業証書が授与されるので、刑務所帰り
と露見させない配慮もあり感心しました。
- ② 心の問題に対しては、個別のカウンセリングがある。— 個々人に見合ったケアは、①の教育との相乗効果で本人の心の整理や、ひいては人格陶冶に大いに寄与するだろうと思いました。
- ③ 本人の資質に合った実践的職業訓練がなされている。
 - 社会復帰して即戦力になれるよう社会のニーズに合った訓練内容の
ようであるほどと思いました。（手芸・料理・パン焼き・タイマッサージ・園芸・美容技術・工場の作業など）
- ④ 規則正しい生活を旨として身体を清潔に、健康に保つ日課を行っている。
具体的には、早寝早起き・滋養ある食事の摂取・朝夕二回のシャワー（一

回につき 10 秒は短すぎ?)・ヨガやキックボクシングなどの運動も取り入れエネルギーの発散にも役立っているようである。

－ 「習慣は第二の天性」「健全な魂は健全な肉体に宿る」の言葉を近年実感している私としては、大いに共感を覚えました。

⑤ 情操教育の充実に努めている。具体的には、音楽・美術・演劇・舞踊など積極的に取り入れ、また図書館や育児室の充実に腐心していた。

－ 鑑賞させてもらったのは楽器の演奏をバックに大勢で揃っての合唱（見事な演奏でした）や、女性受刑者たちが役者さながらに演じたタイの有名な恋愛劇でしたが、芸術を自ら作り上げ演じる達成感や高揚感の体験は勿論、人との関わりや協力が如何に大きな力となるか、如何に喜びをもたらすか、を知ることは大いに意義深いもので、今後の人生に好ましい変化を生み出すと確信します。

考え抜かれた運営体制が功を奏してか、再犯率が一年間に一件というのも十分納得できました。今後も順調に機能してゆくことを期待しています。

以 上